

平成 18 年 2 月 28 日

大 阪 稅 関

貿易統計資料における項目の一部変更等について

平素から、大阪税関貿易統計資料をご利用いただき、誠にありがとうございます。さて、貿易発表資料の計表(品別表、地域国別表、地域国別品別表)の項目のうち、各構成要素(品目、国)の総額に対する増減寄与の計算方法として、当関では**寄与率**(増減寄与率)で算出していましたが、今回の18年1月分から、財務省関税局の全国分の発表資料と統一させるため、**寄与度**(増減寄与度)に項目変更いたしました。また、**バランス**(輸出・入超過額)につきましても、全国分資料と合わせるため、**差引**(差引額)と名称変更いたしましたので、お知らせいたします。

(参考)具体的な算式:

寄与度の計算式

$$\frac{\text{基準時のある品目又は国の輸出(入)額} - \text{比較時のある品目又は国の輸出(入)額}}{\text{比較時の輸出(入)総額}} \times 100$$

寄与率の計算式

$$\frac{\text{基準時のある品目又は国の輸出(入)額} - \text{比較時のある品目又は国の輸出(入)額}}{(\text{基準時の輸出(入)総額} - \text{比較時の輸出(入)総額})} \times 100$$

(具体例)

発表時: 平成 18 年 1 月分 鉄鋼の輸出額の寄与度及び寄与率を算出する場合

品目: 鉄鋼の輸出額 60,962(百万円) 基準時(平成 18 年 1 月分)

40,193(百万円) 比較時(平成 17 年 1 月分)

総額: 輸出の総額 1,122,506(百万円) 基準時(平成 18 年 1 月分)

1,084,404(百万円) 比較時(平成 17 年 1 月分)

計算式: 鉄鋼の寄与度 = $(60,962 - 40,193) \times 100 / 1,084,404$

鉄鋼の寄与率 = $(60,962 - 40,193) \times 100 / (1,122,506 - 1,084,404)$